

(別添3)

【蔵王町】 校務DX計画

1. 現状と課題

蔵王町では、GIGA スクール構想の推進により、児童生徒一人一台端末の整備が完了し、ICT を活用した教育活動が着実に進展しており、今後は、この成果を基盤としつつ、教職員の働き方改革の実現と教育の質の向上を目指し、校務DX を積極的に推進してまいります。「GIGA スクール構想の下での校務DX 化チェックリスト」による自己点検結果等を踏まえ、蔵王町の校務DX における現状と課題を以下のように分析します。

(1) クラウドサービスの活用

メールやグループウェアを活用した情報共有や連絡は、ある程度浸透しているが、一部の学校では、職員会議資料や研修資料の印刷配布、クラウド提出可能な書類の印刷物提出といった慣行が残っているなど、学校間におけるクラウドサービスの活用状況にばらつきがあり、積極的な活用が進んでいない学校も見られます。

(2) FAX でのやり取り・押印の見直し

外部とのやり取りでは、依然としてFAX が一般的に使用されています。また、一部の書類では、押印・署名による確認の慣習が残っており、FAX や押印の慣行が、校務の効率化やペーパーレス化を阻害していると考えられます。

(3) 名簿情報等の入力作業

児童生徒名簿や出欠席の記録、指導要録等の名簿情報が、それぞれ単独のデータとして作成されており、入力作業やデータ連携などの点から利便性に課題があります。

2. 具体的な解決策

上記の課題を解決するために、以下の3つの重点施策に取り組みます。

(1) 生成AIを含むクラウドサービスの活用推進

① 目標

- 令和7年度末までに、全ての学校において、職員会議資料、研修資料、提出書類のやり取りをクラウドサービス上で行う体制を構築し、令和8年度末までに、クラウド環境を活用した校務DXを積極的に推進している学校の割合を100%とします。

② 具体的な取り組み

- 生成AIやクラウドサービスの利活用に関する研修を充実させ、教職員のICT活用スキル向上を図ります。
- 学校間で情報共有や事例紹介を行う場を設け、クラウドサービス活用の促進を図ります。
- クラウドサービスを活用した業務効率化の好事例を収集・共有し、横展開を推進します。
- すべての学校に校内ポータルサイトを構築し、教職員が必要な情報に容易にアクセスできる環境を整備します。
- Google Workspaceを中心としたクラウドツールを積極的に活用し、業務の効率化とペーパーレス化を推進します。

(2) FAX・押印の原則廃止

① 目標

- 令和6年度末までに、教育委員会として、FAX・押印を廃止すべき文書を改めて明示し、令和7年度末までに、FAXでのやり取り・押印を原則廃止した学校の割合を100%とします。

② 具体的な取り組み

- 文部科学省事務連絡「学校等のFAXでのやり取りの慣行・学校現場に関連する押印ルール見直しについて」（令和6年8月9日）に基づき、FAX・押印の原則廃止を周知徹底します。
- 既存の校務系ネットワークやクラウドサービスの活用を促進し、ペーパーレス化と押印廃止を推進します。
- 教育委員会として、各学校がFAXでの送信や押印を求めている関係団体・事業者等を把握し、関係機関等に対して、FAX・押印の廃止に向けた協力を要請します。

(3) 校務支援システムへの名簿情報の効率的な取り込み

① 目標

- 令和7年度末までに、全ての学校に統合クラウド型校務支援システムを導入し、令和8年度末までに、校務支援システムへの名簿情報の不必要な手入力作業を一掃した学校の割合を100%とします。

② 具体的な取り組み

- 統合クラウド型校務支援システムを導入し、名簿情報の一括管理、データ連携による業務効率化を推進します。
- 行政が保有する就学児童の名簿データなどを、校務支援システムに安全かつ効率的に連携する仕組みを構築します。

3. 期待される効果

本計画を着実に推進することにより、以下のような効果が期待されます。

(1) 教職員の働き方改革

校務の効率化・ペーパーレス化により、教職員の負担を軽減し、長時間労働の是正を図ることができます。教職員の時間的・心理的な余裕を生み出すことは、授業準備や生徒指導、児童生徒とのふれあいの時間確保につながり、ひいては、教職員の働きがい高め、魅力ある学校づくりを促進します。

(2) 教育の質の向上

校務 DX により創出された時間で、教員の指導力向上や、個別最適な学びと協働的な学びの充実を図ります。教育データの活用促進により、児童生徒一人ひとりの状況を把握し、きめ細やかな指導や支援につなげます。また、生成 AI の積極的な利活用により、より個別最適化された指導、質の高い学習支援を提供します。

4. 推進体制

校務 DX を効果的に推進するため、以下の体制を整備します。

(1) 校務 DX 推進委員会の設置

教育委員会事務局に校務 DX 推進委員会を設置し、計画の策定・実行、計画の進捗状況の確認、課題解決に向けた協議、学校への支援、関係機関との連携などを図ります。

(2) 校務 DX 推進担当者の配置

各学校に校務 DX 推進担当者を配置し、校内における推進体制を構築するとともに、研修の充実、情報共有の促進、先進事例の横展開などを通して、教職員の意識改革とスキル向上を図ります。